

音楽科 1年

## 正しい音程で歌い，声部の役割を生かした合唱をつくろう

担当 田村有実子

### 【活動の目標】

ピアノやチューナーを使って正確な音程で歌い，他パートの音を聴きながら歌うことができる。

### 【 問 い 】

- ・正しい音程で歌う必要性を考えよう。
- ・正しい音程で歌うために必要なことは何だろうか。

今回 ICT を活用する場面	従来 の 活動
C 全体で演奏する際に録画し，パートのバランスを聴いたり自分や全体の姿勢を確認したりできるようにする。クラスのストリームにあげ，全員で共有し，次の練習方法を考えるひとつの手段とする。パートで録画することも考えている。	・録音や録画をし，その場で観たり聴いたりする。
B バーチャルピアノやオンラインチューナーを使用し，正確な音程を覚えていく。チューナーは，あとどれくらい音を高くすれば（低くすれば）正確な位置に辿り着けるのか理解しやすい。	・パートのピアノリーダーが音楽のまとまりごとにピアノを弾いて音を覚える。 ・音程が分かる生徒や教師がアドバイスする。

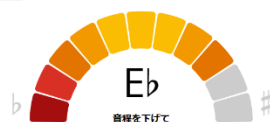
### 【資料】



オンラインチューナー

チューニング停止

音程が高い時の表示⇒



オンラインチューナー

チューニング停止

音程が合っている

ときの表示⇒



### 【ICT 機器を活用する良さ】

- 録音や録画をしてクラスルームで共有することで，何度も聴いたり，また自分のタイミングで振り返ったりすることもできる。
- 自分が正確な音程で歌えているのか分からない生徒は，オンラインチューナーを使うことで可視化され，正確な音程まであとどれくらいで到達するのか分かりやすくなる。チューナーを使うタイミングは，自分のパートが根音の時を主とする。
- 全体（パート）録画の際，CBのマイク性能はあまりよくないので，音色よりも表情やリズム，縦のラインがそろっているかなどを中心に確認する。

### 【事前に確認しておくこと】

- ・バーチャルピアノが使用できるよう，5線譜が読めるようにしておく。
- ・英語音名（CDEFGAB）を理解させ，チューナー使用時には，どのアルファベットが出てきたら正解なのか分かるようにする。